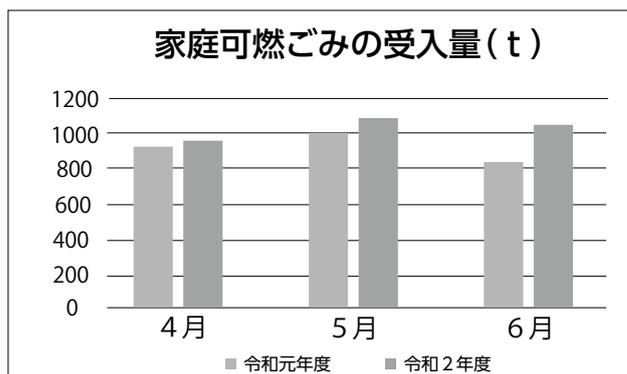


新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務や休業・休校等により家庭にいる時間が増えたことで、家庭から出る可燃ごみ量が前年度同時期と比べると非常に増加しています。

可燃ごみ量が増加することで多くの処理費用が必要になります。

感染症予防に配慮するとともに、可燃ごみの減量についてできることからご協力ください。

問い合わせ 環境課廃棄物対策担当



可燃ごみ減量のポイント

①分別の徹底

リサイクル可能な紙類は「可燃ごみ」に出さず、「古紙・古布」の日や、地域の集団資源回収に出しましょう。市の歳入や実施団体の活動資金になります。



キッチンやテーブルに古紙入れを常備すると便利▲

②枝葉や草の乾燥

草葉の水分や付着している土の重さも処理費用に含まれます。庭木の枝葉や草などは、よく乾かしてから出しましょう。



袋に入れた草木もしばらく放置して乾燥▲

③マイバッグの活用

レジ袋も廃棄すると可燃ごみになります。マイバッグを活用することでごみを出さないエコな生活に取り組みましょう。



プラスチックごみ削減にも貢献▲

④生ごみの処理

水分の重さも処理費用に含まれます。水切りネットなど上手に利用しましょう。また、生ごみはコンポストなどを利用し、ごみとして出さないような取り組みもしてみましょう。



コンポストで堆肥に有効活用▲

くりっかーの可燃ごみレポート

各家庭から出された可燃ごみの速報値です

令和2年7月の可燃ごみ	昨年同月との比較
全体量	976.48 t / -0.16 t
処理費用	40,279,800 円 / +198,494 円
1人当たりの量	17.6 kg / +0.11 kg
1人当たりの処理費用	726 円 / + 8 円

問い合わせ 環境課廃棄物対策担当

感染症予防のためのごみの出し方3か条

- ①ごみに直接手を触れないようにする
- ②ごみはしっかり縛って密封する
- ③ごみを捨てた後は手を洗う

※数値は四捨五入しています。
 ※処理費用は、全体量に41,250円/tを乗じたものです。
 ※1人あたりは、当該月の総人口を基に算出しています。

